

① 地区まちづくり計画

より良い地域づくりを行っていくために、まずは自らの住む地域を見つめ直し、地域の目指すべき将来像や地域課題・生活課題をその地域に住む住民みんなで共有することが重要。
⇒ 多くの人が参画し、日頃から感じる課題や望ましい将来像をお互いに出し合い、取りまとめ「どんな資源を使って」「どう実践したらいいのか」を明記したもの。

② 策定の目的

自分たちの住む地域の目指すべき姿や、解決すべき課題を「地区まちづくり計画」として取りまとめ、地域の目標・課題をみんなで共有するとともに、計画に基づいた活動を住民みんんで行う。※地域の多くの人たちが一緒になって議論、検討を重ねる。

③ 計画を作る人

さまざまな年齢層の地域住民や地域内で活動している団体
⇒ 子ども、お年寄り、男性、女性など様々な立場の人に関わっていただく。
例) 地区まちづくり計画策定委員会 など

④ 作業期間

令和〇年度事業として実施する。（策定期間：令和〇年〇月予定）

⑤ 進め方

裏面参照

※取り組む内容や進め方、スケジュールについては、その都度話し合いを行い、地域の実情に合った方法で無理のないよう進める。

⑥ 予算

〇〇万円（令和〇年度 まちづくり総合交付金）

報償費、消耗品費、食糧費、印刷製本費、通信運搬費



『まちづくり計画』策定の流れ（案）

ステップ1

検討・準備会会議の開催

①計画策定委員会

定期的に会議を開催し、まちづくり計画策定に向けて継続的に話し合いを行う。

地域の現状を確認

②地域の現状を把握

地域住民が考える地域の良いところや悪いところを把握。
住民の考える地域課題やニーズを掘り起こす。

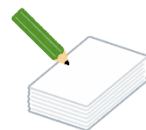
③現状や課題（ニーズ）の整理

各種調査によって把握した現状や課題（ニーズ）を整理する。

内容



- 地域の現状把握
- 住民ニーズの把握
- 既存の活動の見直し
- 取組（計画策定について）等の広報、周知
- 出来るだけ多くの意見が集められるようやり方を工夫する。
- 現状把握は、一度だけでなく、複数回実施する。※方法については、今後検討
 - アンケート調査
 - 意見交換会
 - ワークショップ
 - 聞き取り調査 など
- 整理した結果はできるだけ地域住民に還元する。



ステップ2

まちづくり計画（活動計画）の作成

①目指すべき姿や活動の整理

アンケートやワークショップにより集約した住民の意見を基にこれから目指すべき姿や地域課題をまとめる。

②まちづくり計画の作成

まとめたものを見やすくわかりやすく整理し、「まちづくり計画」を作成。

内容

- 地域のみなさんからの意見を分類し、柱となる取組や方針を整理する。
- 分野ごとに分類した課題を解決、目指す将来像にむけたスローガン（目標）を決める。
- 分野別の課題や将来像に対する取り組み（内容、実施主体、協力体制、実施時期）をみんなで考える。
- まちづくり計画は概ね5年程度を想定。
- 実現性を考慮して作成する。
- 住民がわかりやすくイメージしやすい表現にする。
- 簡潔にすっきりとまとめる。

※取り組む内容や進め方、スケジュールについては、その都度話し合いを行い、地域の実情に合った方法で無理のないよう進める。